

# おっぱいだよ

16号

しばらく発行が滞っておりましたが、とうとう白い雪が降る季節となりました。夏も節電でしたが、冬の暖房器具も意外と電気を使用します。電気を使用しなくても良い暖房器具の選択や、衣類、カーテンやカーペットなどの工夫で、冬も省エネで過ごすように心掛ける必要がありますね。

先月、急性期病院でもある元旭川医科大学病院小児科医・現北海道療育園副園長の林時仲(はやし ときつぎ)先生を迎えて、講演会“旭川医科大学病院が「赤ちゃんにやさしい病院」を目指した理由”を行いました。未熟児医療が進歩する一方で、NICUを退院した子どもが児童虐待を受ける割合がとても高いという現実があり、旭川医科大学病院では、赤ちゃんとお母さんを離さないように、お母さんも赤ちゃんと一緒に入院できるような対応を取り、育児に参加してもらっているそうです。



当院も急性期病院であり、NICUのある病院であるからこそ、BFH認定を目指して行く意義を感じました。

当院も急性期病院であり、NICUのある病院であるからこそ、BFH認定を目指して行く意義を感じました。



## 「赤ちゃんにやさしい病院」申請しました！

2006年に1回目の申請をしてから(この時は書類審査を通過できず・・・)、今年ようやく2回目の申請を先日しました。

今年11月までの母乳率は、退院時83.3%、1ヶ月健診時71.3%です。この値でもまだ、審査を通るか微妙なところですが、総合周産期母子医療センターとして、未熟児医療、重症妊産婦医療を担う施設として、できることは行ってきました。

結果は年明けになり、書類審査を通れば次は現地調査です。その時は皆さんにご報告したいと思います。

